



▲講師の説明を聞きながら革細工の体験をする生徒

「福津の仕事人」を福間東中学校で開催 将来を考えるきっかけに

福津市商工会青年部の協力を得て、市内の中学生や高校生に、その道のプロが直接語り掛ける取り組み「福津の仕事人」。

不動産、飲食、コンサルタント、美容など12の講座と6つの体験授業が、10月2日に福間東中学校で、中学2年生を対象に行われました。

講座では「年収はいくら」「失敗した経験は」「一番大変だったことは」などの質問に講師が答え、驚きの声などが上がっていました。また、体験授業では普段なかなかできない体験に生徒たちはいきいきとしていました。

少林寺拳法 組演舞親子の部で全国大会に出場 親子拳士、日本一を目指す

静岡県で開催された少林寺拳法全国大会に、親子で出場する神興小学校 4年生の川本季歩さんと達也さんが、10月11日に市長を表敬訪問しました。季歩さんは、6歳から少林寺拳法を始めて世界大会も経験し、今回は道場の門下生として初めて全国大会に出場し「全国1位を目指したい」と抱負を語っていました。



▲県大会での賞状を持つ季歩さん(中)と達也(左)さん

柔道・空手・相撲・バレーボールの全国・九州大会に出場 福間中学校の生徒が好成績

全国・九州大会に出場した福間中学校の生徒が、9月20日に市長を表敬訪問しました。柔道では個人3位・団体準優勝、空手では個人でベスト8など、とても素晴らしい成績を残しました。市長は「皆さんの活躍は、市民にとって良い影響をもたらしています」と生徒の皆さんをたたえていました。



▲全国・九州大会に出場した福間中学校の皆さん

発行月に1歳の誕生日を迎える赤ちゃんの写真を募集。掲載を希望する人はプリントした写真を市子育て支援センター「なかよし」に持参するか、市公式ホームページでも受け付けています。持参の場合、写真はプリントしたものに限り、データの持ち込みは受け付けられません。

毎号先着24人で、令和6年2月生まれの赤ちゃんは12月17日(火)が受付期限です。

問い合わせ 市子育て支援センター「なかよし」(ふくとびあ) ☎0940・35・8382

休館日 月曜日、第2土曜日とそれに続く日曜日、祝日

写真申込フォーム▶



福=福間 南=福岡南 津=津屋崎 上=上西郷 勝=勝浦 宮=宮司 神=神興 東=神興東

津屋崎千軒音楽散歩

福津に音楽と秋の香りを

毎年恒例の津屋崎千軒音楽散歩が10月14日に行われました。日中は汗ばむ陽気が続いていましたが、この日は雲で日差しが遮られ、散策するにはちょうど良い気候でした。

豊村酒造旧醸造場施設が国の重要文化財に指定されたのを記念して、豊村酒造を会場に九州交響楽団の皆さんが弦楽四重奏を披露。美しい弦楽器の音色に会場いっぱいの聴衆は聴き入っていました。また、津屋崎中学校吹奏楽部によるパレードが行われたほか、津屋崎千軒のさまざまな場所で音楽が奏でられ、来場者に秋の訪れを感じさせていました。



▲満員の聴衆の前で演奏する九州交響楽団員の皆さん

救助したアオウミガメを放流

元気になった姿に感動

7月中旬に市内の海岸で、甲羅が割れて衰弱した状態で発見されたアオウミガメ。市うみがめ課からマリンワールド海の中道に連絡し、そこで体調を回復させることになりました。

その後は順調に回復し、9月26日、マリンワールド職員と市うみがめ課職員によって、無事に海に帰すことができました。

体重11kgほどの子ガメが手足を力強く動かして海に帰っていく姿に、見守っていた職員も感慨深い様子で、その姿が見えなくなるまで見送っていました。

乱獲や海洋汚染などによって個体数が減少し、絶滅危惧種に指定されているアオウミガメ。甲羅に付いているコケは海で泳いでいるうちに少しずつ取れていくそうです。

無事に大人になって、大海原を雄大な姿で、元気に泳いでくれることを願っています。



▲一生懸命に海に向かって進んでいくアオウミガメ

光の道と夕陽風景時計を巡るフットパスを開催

美しい景色や潮の香りを満喫

カメラステージと津屋崎千軒海とまちなみの会が主催する津屋崎里歩き「フットパス」が、10月12日に開催されました。参加者は、宮地嶽神社参道石段の最上段から、宮地浜の「夕陽風景時計」や津屋崎松原などを散策し、カメラステージまでのまち歩きを楽しんでいました。



▲秋の津屋崎歩きを楽しむ参加者

令和6年度 男女共同参画都市記念講演会

今の世の中、男女平等じゃないの？

今年度は西日本短期大学保育学科長の冨永明子さんを迎え、ジェンダー・バイアス(男女の役割などに関する無意識な差別や偏見)について、9月28日に講演会を開催。世界的に見てもかなり遅れている日本人のジェンダー・バイアスを改善するためのヒントが、たくさん散りばめられた講演会でした。



▲自身の体験も交えながら分かりやすく講演する冨永さん